

函館市上下水道事業経営ビジョン進行管理

函館市上下水道事業経営ビジョン進行管理全体総括(令和6年度)

【これまでの総括】

経営ビジョン計画期間の平成29年度から令和3年度の前期5か年では、将来の水需要に基づく施設規模の見直しを行い、管路や設備の更新を進めるなど、上下水道施設の機能保全に効果的に取り組みました。

また、民間事業者や道内他都市との共同訓練の実施、災害時の資機材確保などを通じて災害対応力の向上にも努めました。

施設の維持管理では、業務委託範囲の拡大や民間活力を活用したDBO方式の導入など、公民連携による効率的な事業運営に向けた取り組みを進めたほか、環境負荷低減のため、省エネルギー型設備の導入や資源の有効活用にも取り組みました。

令和4年度の間見直しでは、当初ビジョンの基本的考え方を引継ぎつつ、財政計画を中心に見直しを行い、それ以降は、改訂したビジョンに基づき、老朽施設の更新や上下水道管路の耐震化を計画どおり推進しています。

令和5年度には、能登半島地震の被災地へ応援職員を派遣し、応急給水や民間事業者との共同による応急復旧活動を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた上下水道施設見学会を再開するなど、上下水道事業への理解を深める取り組みを進めました。

【令和6年度の総括】

令和6年度は、老朽施設の更新や上下水道管路の耐震化を計画どおり進めるとともに、尾札部川取水施設の建設工事を行い、安定した取水確保に向けた整備を進めたほか、古部浄水場には膜ろ過設備を導入し、安全で安定した水の供給に努めました。

また、小水力発電の導入や消化ガス・下水汚泥の再資源化といった資源の有効活用についても継続的に取り組みました。

令和6年度決算は、おおむね経営ビジョンどおりとなりましたが、今後は人口減少による収入減や、施設の老朽化に伴う事業費増加が見込まれるため、引き続き財政健全化と効率的な事業運営に取り組んでいくことが重要であると考えております。

基本方針および施策目標の取り組み状況(平成29年度～令和6年度)

上段: 評価件数 下段: 割合

基本方針および施策目標		「B」評価以上	「A」評価	「B」評価	「C」評価	「D」評価	「-」評価なし	計
1 くらしを支える上下水道	(1) 安心できる水の確保	1	0	1	0	0	0	1
	(2) 安定取水の確保	1	0	1	0	0	0	1
	(3) 安全な水の供給	2	1	1	0	0	0	2
	(4) 水道施設機能の保全	1	0	1	0	0	0	1
	(5) 適切な給水装置管理の促進	2	0	2	0	0	0	2
	(6) 下水道の普及促進	2	1	1	0	0	0	2
	(7) 下水道施設機能の保全	2	0	2	0	0	0	2
	(8) 公共用水域の水質保全	1	0	1	0	0	0	1
	(9) 温泉の安定供給	1	0	1	0	0	0	1
	計	13	2	11	0	0	0	13
	100%	15%	85%	0%	0%	0%	100%	
2 上災害に強い 下水に強い	(1) 地震対策の推進	2	0	2	0	0	0	2
	(2) 浸水対策の推進	2	0	2	0	0	0	2
	(3) 災害対応力の向上	4	0	4	0	0	0	4
	計	8	0	8	0	0	0	8
	100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	
3 事業信頼される	(1) 健全な事業経営の推進	5	0	5	0	0	0	5
	(2) 効率的な組織づくり	2	0	2	0	0	0	2
	(3) 透明性の高い事業運営	2	0	2	0	0	0	2
	計	9	0	9	0	0	0	9
	100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	
4 環境推進対策	(1) 環境負荷の低減	2	0	2	0	0	0	2
	計	2	0	2	0	0	0	2
	100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	
合計	32	2	30	0	0	0	32	
	100%	6%	94%	0%	0%	0%	100%	

A : 完了した・計画を上回っている

B : 概ね計画どおりに進んでいる

- : 評価なし

C : 計画を下回っている

D : 著しく計画を下回っている